

鴨川ふるさと会だより

— 第8号 —

鴨川ふるさと会事務局発行：〒296-8601 千葉県鴨川市横渚1450番地(鴨川市役所企画政策課内) TEL:04-7093-7828

平成24年度定期総会を開催します

市執行部との市政懇談会 ふるさとセミナー(テーマ「波の伊八」) ふるさと大使委嘱状交付式・懇親会などを併催



▲昨年度の総会から

市執行部との市政懇談会
鴨川市内外の両面をよく知

新たに鴨川ふるさと大使となられた会員のうち総会当日にご出席いただいた皆様に、片桐有而市長から、直接委嘱状を交付していただく予定です。

鴨川ふるさと大使委嘱状交付式
なお、事業計画案としては、定期総会以外の場における会員間の交流機会の創設など、本年度からの新たな試みの実施についても、皆様にお諮りします。

定期総会
鴨川ふるさと会の平成24年度定期総会を8月5日(日)午後1時から、ホテル銀座ラフィナート(旧京橋会館)で開催します。

総会では、事業計画案や予算案などのほか、本年度は役員の改選年度に当たするため、新役員についても審議いただきます。

片桐市長から本年度における鴨川市の事務・事業の概要等について説明をいただいた後、皆様との意見交換の時間を設ける予定です。

ふるさとセミナー
ふるさとの歴史をより深く知っていただき、ふるさと大使としての活動にも活かしていただくことができるよう、ふるさとセミナー(郷土についての学習会)を開催します。

今回のテーマは、郷土が生んだ偉人の一人、江戸時代の彫物大工「波の伊八」。その作品が葛飾北斎の『富嶽三十六景』に強く影響を与えたとの説もある稀代の彫工です。

市郷土資料館の石川丈夫氏のご講演により、その実像に迫ります。

平成24年度 鴨川ふるさと会 定期総会等のご案内

- 日時 平成24年8月5日(日)
13:00~16:30(予定)
 - 場所 ホテル銀座ラフィナート
(元京橋会館)
住所 東京都中央区銀座1-26-1
電話 03-3564-0888
 - 内容 定期総会・鴨川ふるさと大使委嘱状交付式・片桐市長からの市政概要説明・市執行部との懇談会ふるさとセミナー
郷土の名工「たけしい はちろうのぶよし武志伊八郎信由」
~その実像を探る~
会員および市執行部との懇親会
 - 会費 3,500円(会員)/会員家族 2,000円
- ※内容については、変更となる可能性があります。予めご了承ください。

より多くの人が集う、アットホームな雰囲気の方にしましょう!

※出欠については、この会報に同封の出欠票にて、事務局までご回答をお願いします。

当日は、ご家族等(会員でなくても構いません。)のお誘い合わせも大歓迎ですので、万障お繰り合わせのうえ、是非ご出席くださいますようお願いいたします。

懇親会
セミナー終了後には、会員間の交流を深めていただくため、懇親会の場を設けます。気の許せる同郷の仲間と、ふるさと鴨川の今昔について語り合うひと時をお過ごしください。

市郷土資料館の石川丈夫氏のご講演により、その実像に迫ります。

輪廻のラグランジェ

7月から放映スタート

チバテレビ
7/4(木) AM 1:30~

season2

○輪廻のラグランジェとは

この作品は、鴨川を舞台にしたテレビアニメで、3人の

女子高生が宇宙から来襲した敵と戦いながら友情を育むストーリーです。作品には、魚見塚展望台や前原横渚海岸など鴨川の持つ素晴らしいロケーションが描かれており、アニメファンに観光地鴨川を広くPRする絶好の機会となっています。このアニメは、平成24年1月から3月まで第1期の12話が放送され、この7月

からは第2期の放送が予定されています。

○鴨川の取り組み

近年、アニメファンの間では、アニメの舞台となった場所を訪れ、モデルとなった建物やロケーションなどを巡る「聖地巡礼」と呼ばれる活動がブームとなっています。鴨川市においても、放送が始まる前から若年層を中心としたアニメファンが少しずつ訪れはじめていました。

受け入れ側の鴨川市におい



ラグランジェ×鴨川キービジュアル (天津祭礼)

※キービジュアルとは、アニメと鴨川市のタイアップの核となるイメージ画像

ても、アニメという新しい資源を活かして地域の活性化に結び付けようという機運が高まり、平成23年11月に観光・商工団体や教育・行政機関により「輪廻のラグランジェ鴨川推進委員会」が設立されました。委員会の実行部隊である部会は、城西国際大学の学生を含めて、20〜30歳代の委員で構成され、アニメのファン層と重なる世代が活躍しています。放送が始まった1月からは近隣の関東地方からだけでなく、愛知や京都などの遠方から足を運んでくれるファンも見られました。

客の誘客につながり、地域の活性化やアニメ作品の人気に貢献できるような企画など、地域とアニメ製作チームの双方に有益となる取り組みの実現に向けて動き出しています。これらの取り組みで重要なことは、常にファンの目線で考えることです。商業意識（お金を儲けようとする意識）が前面に出てしまうと、いくら素晴らしい企画を準備したとしても、ファンは敏感に察して距離を置いてしまうからであり、それでは鴨川は金儲けしか考えていない「あざとい」という評価になってしまいます。あくまで作品があり、ファンがあつての取り組みであるため、目先の利益のことばかり考えるのではなく、先を見据えた息の長い取り組みとして進めています。

- こんな活動をしています
 - ①ラグりんグッズ（アニメの台本やPR用スタッフジャケット等）を市内の店舗に展示してファンの来訪を促すとともに、ファンの情報交換のため交流拠点ともなる「ラグりんステーション」を設置。
 - ②アニメ本編に登場した場面の紹介とあわせて、鴨川の特産品や食事処を紹介するガイドマップを作成し、鴨川を訪れたファンに配布。
 - ③推進委員会とファンが交流できるFacebookサイトを立ちあげ、オンラインによる意見交換を通して、今後の活動の参考としている。
 - ④ラグりんステーションが設置されている新町通り商店街では、ラグりんのシャッターアートプロジェクトが進行中。シャッターアート製作チームも募集中。
- （輪廻のラグランジェ鴨川推進委員会）
- ◆放送局：読売テレビ、TOKYO MX、チバテレビ、札幌テレビ、中京テレビ、福岡放送
 - ◆配信：バンダイチャンネル、ニコニコ動画

前原横渚海岸

©ラグランジェ・プロジェクト

シーフェスタ2012 in Kamogawa

5万8千人が来場！ 6月2日(土)・3日(日)開催しました！



昨年度は東日本大震災の影響で中止となり、2年振りの開催となりました。

福島県いわき市の観光物産・PRを行う『がんばっぺ福島「絆ブース」』が会場内に出店し、福島県立勿来(なこそ)工業高等学校のフラダンスチーム「勿工フラガール」の特別出演も実現するなど、復興支援の一端も担った今年のシーフェスタ。

会期中には、日本の渚百選の一つ「前原横渚海岸」を背景に設置した特設チャペルでの市内カップルの結婚式「渚のウエディング」が行われたほか、海岸線をバックにした特設「渚のステージ」上で行われたメインイベント「第4回Kamogawaフラフェスティバル」では、「勿工フラガール」をトップバッターに、プロ・アマを問わず、全国各地から集まった37団体・約1,000人もものフラ愛好者が、それぞれに工夫を凝らした優雅なダンスを披露。

ステージ脇にはハワイアンショップも立ち並び、南国ムード一色に包まれた会場では、市内外から集まった5万8千人の来場者が、少し早い鴨川の夏を満喫しました。



3月に完成した新校舎

4月5日、新たに市内に開学した亀田医療大学で、看護学部看護学科1期生を迎える入学式が執り行われました。

この大学は、学校法人鉄蕉館が、県南地域におけるこれからの医療を担う優秀な看護師を育成するため設置を進めてきたもので、市内外から入学した85名が大学生活をスタートさせました。

新校舎は、鉄筋コンクリート造4階建て、延べ床面積7457.76㎡。講義室や実

亀田医療大学が開学

地域に根ざした優秀な看護師の育成を目指します

験実習室のほか、情報処理学習施設、在宅看護実習室などが備わっており、市が無償貸与した旧鴨川中学校敷地上に建設されました。

現在の1年生が4年生となる頃には、生徒・教職員合わせて、400名以上が市内で大学生活を送ることになります。市では、地域における看護師の確保と医療環境の充実を図るため、返還免除規定のある看護師等修学資金貸付事業を実施するなど、安心・安全な地域医療体制の確保を目指しています。



4月に行われた入学式の様子

会員のページ ①

推薦図書のご紹介と近況報告

鴨川ふるさと会会長 石川 忠男



お薦め図書を手にする石川会長

会員のページに「」投稿を

日頃のご支援、ご協力ありがとうございます。

東日本大震災を経験して、会員皆様のふるさと鴨川への想いを強く感じます。昨年の定期総会では、会員皆様の賛同を頂き、念願の会費制を導入することができました。市と協力して開催した谷内六郎展では会員の皆様を始め、市内外の方々を含み、約4千名が鑑賞し大成功で終了することができました。今後とも当会として期待に込めるために、

活動をより一層充実していきます。具体的には定期総会時の市長との懇談会や市情報の提供、会報の内容充実、ふるさとセミナーの開催、市のイベントPRと参画、ボランティア活動など参加型運営を進めます。会員の皆様には、ふるさと大使としてのふるさとのPR、市政支援としてのふるさと納税とふるさと産品のPR・販売促進についてご協力をお願いいたします。特に今後は会員相互の交流を充実するために会員皆様の意見、要望、提言などを鴨川ふるさと会だよりの「会員のページ」にて紹介致しますので、多数の投稿をお願いいたします。

今回は、私が先達役として、図書のご紹介と近況報告を致します。

「プラチナ・タウン」 楡周平著(祥伝社)を ご紹介致します

私は、現在ボランティアに取り組み、老人福祉や介護、

子育て支援の重要性を痛感しています。

その時、書店で楡周平氏の「介護退職」を見つけ購入し、その内容に痛感し、楡氏の著書を何冊も読む度にこの「プラチナ・タウン」を見つけてきました。是非、会員の皆様にご紹介します。

内容は、

総合商社で活躍していたが、ちよつとした理由で、出世街道を外された主人公がふるさとである東北地方の過疎化が進む町の町長になり、財政再建団体に転落寸前のふるさとを福祉ビジネスという誰もが思いつかなかった発想で町の再興を図るサクセスストーリーです。

〜推薦理由から〜

①この本の内容は、当会が平成22年度の定期総会で鴨川市長に「第2次5か年計画」への提言として提出した、市民とU、I、Jタウンが共生した、いきいき健康・福祉と観光の街「ふるさといきいきコミュニティタウンづくり構想」の内容とあまりにもよく似ています。私はこの本をふるさと鴨川と重ねて何度も読み、感動、感銘しました。

②この「プラチナ・タウン」を鴨川市に置き換えて読むとすべての面で鴨川の方が優れ

ています。特に亀田総合病院を始め多くの医療施設が充実しており、日本一の医療サポートが期待できることは大きな可能性を強く感じました。アメリカではアリゾナやフロリダに数万人のシルバー・タウンがあり、いきいきとした生活を築んでいます。

③当会員の池田一男氏、山田健男氏に紹介し、感想を伺ったところ、両人とも感動され、是非、片桐市長や議員の方々を始め職員、市民の方々に読んでいただき、また会員の皆様の中には様々な分野で活躍された方がいるので、読後の感想を聞いてみてはいかがか？とのアドバイスがありました。

④福祉、介護、生きがいの分野で第一人者の堀田力氏(さわやか福祉財団理事長・弁護士)は、「借金だらけの町は全国どこにもあるが、老人福祉のまち建設で見事に再建した自治体は未だ実在していません。新しいものを作り出すことは面白くワクワクします。主人公になりきって読むと興奮します。高齢者の多い、つまり福祉の投資の大きい町は押しなべて財政が苦しいものです。そこへこの作品はこうすれば出来るとのメッセージがあつてぐんぐん引き込まれ

ていきます。広い意味でのサクセスものであるが挑戦のプロセスが魅力です。」と絶賛しています。

是非、会員の皆様にお読みいただき、読後の感想、意見、提言をお寄せいただき、ふるさと鴨川が全国で光り輝くまちになるよう応援していきましょう。

〈感想などの連絡先〉

・会長 石川忠男

(メール)

spvz86y@wing.ocn.ne.jp

(FAX)

047133511067

・鴨川ふるさと会事務局

(FAX)

04709317851

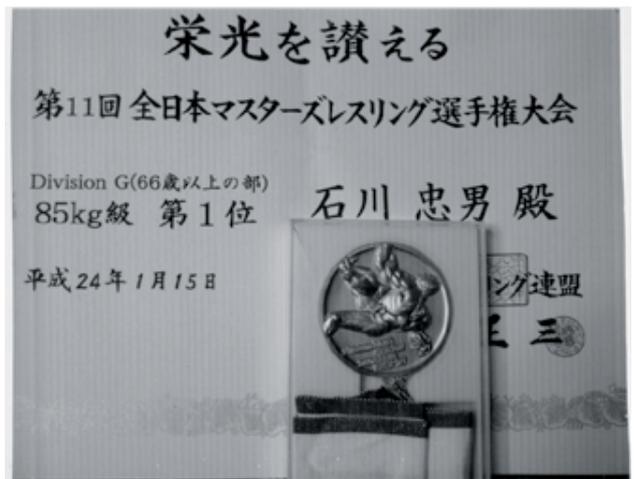
全日本マスターズ レスリング選手権大会で 2連覇しました

私は、会社を70歳でリタイヤしてから3つのことに取り組み、充実した日々を過ごしています。

①ボランティア活動として、当会と地球ボランティアとしてはナルク市川(NALCニホン・アクティブ・クラブ)で活動しています。ナルクは全国に支部を持つ3万名の組織で自立・奉仕・助け合い・

生きがいを理念とし、時間預託システム(ボランティアで時間を貯め、困ったときに引き出し、サポートを受ける)で「出来ることを・出来るときに・出来る方法を」参加する気軽な団体で人生80年時代を楽しんでいます。当会員の石川太氏も川崎の副代表として活躍されています。

②血糖値と高血圧のため、医師から、減量・食事療法と定期的な運動を進められ、この6〜7年で12kg減量し、体調は順調です。毎日、スポーツクラブで2〜3時間ウォーキングと筋力トレーニングをしています。孫がレスリングを始めたので、健康促進と生涯



氏の本を好んで読んでいます。歴史物が好きで司馬遼太郎氏をはじめ数多く読みました。浅田次郎さんの出版記念講演会で「読書は想像を育成する」との話聞き、共感しました。これからも残りの人生で数多くの本を楽しみたいと思います。年金生活のため、最近は図書館から借りて読んでいます。推薦図書がありましたらお知らせ下さい。

最後にこのページは会員相互の交流のページです。皆様方の趣味や特技、または日頃の意見、要望、提案を数多く寄せて頂くことを期待しています。

スポーツとして一緒に50年ぶりにマットに上がり、練習をしています。全日本マスターズレスリング選手権大会(年齢別II 65歳以上・体重別II 76kg以上)には2年前から参加し、2連覇しています。

家族との絆を深めながら、目標への挑戦を楽しんでいます。

③趣味の読書は、毎年100冊程度乱読しています。最近、楡周平氏、浅田次郎

谷内六郎展

海と山と田んぼとあの頃の私々の
開催結果を報告します。

ーご協力ありがとうございましたー

これまでにもご報告させていただいたとおり、本会では、鴨川市からの委託を受け、市民の皆様へ優れた芸術作品に接する機会を提供するため、「谷内六郎展〜海と山と田んぼとあの頃の私〜」の主管として、この開催運営に携わりました。

本展覧会は、谷内氏のご家族と親交ある会員がパイプ役となり開催にこぎつけたもので、平成24年1月7日から2月1日までの24日間、鴨川市民ギャラリー及び鴨川市総合交流ターミナル「みんなの里」を会場として開催し、両会場合わせて4千名を超える大勢の皆様にご鑑賞いただくなど、大きな成果を上げることができました。

本事業の実施に当たり、深いご理解とご協力を賜りました会員の皆様はもとより、特に、ボランティアスタッフとして、又は来場者として会場に足をお運びいただいた皆様に、心から厚く御礼申し上げます。



ボランティアスタッフとして来場者を案内する
清水副会長



市内の小学生が見に来てくれました

●鴨川ふるさと大使の名刺が新しくなりました

本会は鴨川市との連携により、多くの会員の皆様を「鴨川ふるさと大使」にご委嘱申し上げ、その役割を担っていただいております。

大使となられた皆様には、市から大使用の名刺が提供されることとなりますが、この度、市では、この名刺のデザインを一新。

「大使にとつてより使いやすく、受け取った人がよりわかりやすい」ことをコンセプトに、日本の棚田百選「大산千枚田」や市指定文化財となっている「波の伊八」の作品など4種の写真を取り入れるとともに、裏面には、本会が鴨川市観光協会との協力により実施している「ウェルカムセット配布事業」(詳細は下欄の「おさらい」鴨川ふるさと大使とは)を参照していただき)の案内を明記しました。

新たに大使へと就任される会員の皆様には、この新デザインの名刺を提供させていただきますこととなります。

なお、以前から大使としてご活躍いただいている皆様につきましては、お手元の2つ折タイプの名刺が無くなり次第、新デザインの名刺に切り

おさらい ~鴨川ふるさと大使とは~

Q 1. ふるさと大使の役割はなんですか？

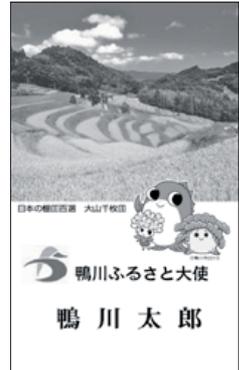
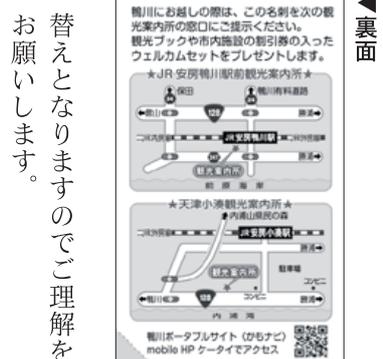
大使となられた皆様には、市から、市政や市内の観光に関する定期的な情報とともに、大使用の名刺が提供されます。これらをご活用いただき、出席された各種会合の場などでの、鴨川の素晴らしい自然や歴史、文化などのPRをお願いしています。

Q 2. 大使から名刺を受け取った人には、どのような特典がありますか？

大使から名刺を受け取られた方が市内2箇所(鴨川駅前・小湊駅前)にある観光案内所の窓口でその名刺を提示すると、観光パンフレットや周辺の観光施設の割引券などが入ったウェルカムセットを受け取ることができます。

Q 3. 報酬などの支給はありますか？

誠に恐縮ですが、無報酬となります。
正に「継続は力なり」というところで、大使となられた方には、無理のない範囲で、ふるさと鴨川のPRを継続していただけるようお願いしています。



日本の棚田百選 大산千枚田

●ふるさと納税

本会では、鴨川市が受け入れを行う「ふるさと納税」への積極的な協力を勧奨していただきますが、昨年度も多くの会員の皆様からご芳志をいただきました。

紙面上にて恐縮ではございますが、まずは御礼申し上げます。

平成23年度の実績を報告します

平成23年度の実績としては、総数で73件(四百五十一万一千円)の収入があり、うち会員の皆様からのものは21件(五十六万円)でした。

いただいた寄附金につきましては、「鴨川市ふるさぽーと基金」に積み立て、ふるさと鴨川のまちづくりの有効に

活用させていただきます。
平成24年度から「鴨川市ふるさぽーと寄附金」として新たにスタートしました

鴨川市では、本年度から、市が受け入れる「ふるさと納税」について、独自の名称を定めました。新たな名称は、ふるさとをサポートするという意味合いから、「鴨川市ふるさぽーと寄附金」とさせていただきます。

詳しくは、市の専用ホームページ「鴨川ふるさぽーと」をご覧ください。本会事務局までお問い合わせください。

●掲載記事を募集します！

「鴨川ふるさと会だより」では、会員の皆さんからの掲載記事を広く募集しています。

今回は、石川会長から、楡修平氏著『プラチナ・タウン』のご紹介や近況報告などをいただきました。
日頃感じていることや、身近で起こった出来事などについて、広く会員の皆様に紹介してみませんか？
「文章を書くことはどうも

●鴨川の味覚を満喫してふるさと産品セット

これまで、本会では総合交流ターミナル「みんなの里」の協力により、会員の皆さん向けに特別商品プラン「ふるさと産品セット」を斡旋してきましたが、この度、新たな商品も加え、このパンフレットの紙面を一新しました。

本会報に新パンフレットと申込書を同封しましたので、ご自宅用またはご贈答用として、鴨川の味覚を是非お楽しみください。

苦手で：」という方でも、インタビュ形式をとるなど、原稿の作成をお手伝いしますので、ぜひ積極的にお問い合わせください。
また、経営する企業やお店の広告についても併せて募集しています。
広告料は、およそ10センチ×10センチ(このグレーの部分を実物大となります)を1コマとした場合で3千円となります。

いずれにつきましても、まずは事務局まで、お気軽にご相談ください。

